

人間社会学部におけるキャリア女性学副専攻の動向

藤田 武志

1. はじめに

本稿では、2015年度の間人社会学部におけるキャリア女性学副専攻の動向を概観する。

人間社会学部におけるキャリア女性学副専攻は、2002年度に副専攻制度を設けたことに端を発している。その後、2007年度に大幅なリニューアルを行い、現代女性のライフコースをふまえたキャリア形成に資することをめざす副専攻として「キャリア女性学副専攻」を実施している。副専攻制度としての再編成という観点から見ると、その要点は、1) 現行の三つの副専攻を3つのコースとする、2) 3つのコースにキャリア女性学副専攻共通のコア科目群を設置する、3) キャリア形成科目との相互乗り入れを検討する、という三点によって特徴づけられる。

より具体的には、既設の副専攻制度を①地域・行政コース、②国際活動コース、③情報技術コースという3つのコースに編成し、それに加えて、キャリア女性学コア科目を新設した。コア科目を設けることで、どのコースを選択しても、女性のライフコースを基盤としたキャリア設計に役立つように工夫した。副専攻取得希望者は、キャリア女性学コア科目を習得したうえで、3つのコースのいずれかを選択して履修する。

キャリア女性学コア科目は、1) キャリア形成、2) キャリア制度、3) ビジネス系、4) ライフコース系という4つの科目群から構成されており、それぞれの科目群には複数の科目が置かれている。各々の科目群は、それぞれ、1) ライフコースと女性の生き方や現代の家族事情を知る科目(現代女性の生き方を考える)、2) 労働事情を知りキャリアデザインを考える科目(現代社会での働き方を考える)、3) 女性たちの仕事の実際を知る科目(さまざまなビジネスやキャリアのありかたを知る)、4) 具体的な労働場における諸問題と法律を学ぶ科目(キャリア女性をめぐる問題と解決法の実際を知るために)として配置された。

それぞれのコースの性格と狙いは以下の通りである。①地域・行政コースは、公務員をはじめとして、さまざまな地域活動で活躍する人材の養成を視野に入れ、経済や法律、行政などの科目に力点が置かれている。②情報メディアコースは、コンピュータを駆使する領域をめざす人が、おもに情報技術や情報メディアの処理論やその実際的应用を学ぶ。外国語を活かした社会活動を目指す学生のためには③国際活動コースが準備されており、ここでは、外国語の実際的能力や諸外国の文化・歴史の集中的学習が目指される。

各コースでは、具体的なキャリア形成の基礎となるようなベーシックな授業科目を選択することができるのみならず、キャリアプランに直結する実際の授業科目として地域活

動講座、国際活動講座、「コンピュータラゼーションと現代の諸問題」という実践的な授業が必修科目として配置されている。

2. 2015年度における履修状況

キャリア女性学副専攻では、2年次のはじめに登録し、3年次に所定の単位が取得されっていると、4年次に単位修得証明書を発行しており、その証明書が就職活動に役立つように配慮されている。

2015年度におけるキャリア女性学副専攻の履修状況は、3年次は総計124名、在籍者数の26.7%、2年次は総計120名、在籍者数の25.7%が副専攻のいずれかのコースを履修している（表参照）。2014年度の履修者の割合は、3年次が27.4%、2年次が31.2%であり、昨年度に比べると今年度は2年生がやや減少している。今後の動向を注視していきたい。

人間社会学部キャリア女性学副専攻履修状況 2015年

2年次	現社	社福	教育	心理	文化	総計
地域・行政コース	20	33	5	4	5	67
国際活動コース	4	3	7	3	21	38
（英語）	2	3	5	2	7	19
（ドイツ語）			1		5	6
（フランス語）					6	6
（中国語）	1			1	3	5
（イタリア語）			1			1
（韓国語）	1					1
情報メディアコース	4	1	2	4	4	15
計	28	37	14	11	30	120

在籍者数	92	92	103	62	118	467
在籍者数に対する履修者数割合（%）	30.4%	40.2%	13.6%	17.7%	25.4%	25.7%

3年次	現社	社福	教育	心理	文化	総計
地域・行政コース	21	13	2	6	4	46
国際活動コース	17	8	4	1	31	61
（英語）	4	5	3	1	8	21
（ドイツ語）	1		1		4	6
（フランス語）	6	2			9	17
（中国語）	2				2	4
（イタリア語）	1				2	3
（韓国語）	3	1			6	10
情報メディアコース	7	2	1	1	6	17
計	45	23	7	8	41	124

在籍者数	103	97	92	61	112	465
在籍者数に対する履修者数割合（%）	43.7%	23.7%	7.6%	13.1%	36.6%	26.7%

※在籍者数は、2015年5月1日現在（西生田学務課作成）

（ふじた たけし 人間社会学部教育学科教授・キャリア女性学副専攻委員長）